

[中吐]SOX+Nivo療法

外科
 処方医:
 適応症: 胃癌(HER2陰性、切除不能・再発)
 3週間を1コースとして投与を繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
オキサリプラチン	●																					●
ニボルマブ	●																					●
S-1 朝		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
S-1 夕	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							●

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ コース)

Day1(月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食注シリンジ10mL 【ポート使用時】フラッシュ 10mL以上のシリンジ使用	2本		
生食50m プライミング用	1瓶		
		生食50m プライミング用	1瓶
		生食100mL ニボルマブ※ 【30分以上 点滴静注】 (非炎症性) インフュージョンリアクション注意 特に初回～2回に注意	1瓶 360mg
		生食50mL フラッシュ	1瓶
5%ブドウ糖 100mL グラニセトン注3mg デキサート注 ポララミン注5mg 【30分 点滴静注】	1瓶 1管 9.9mg 1管		
5%ブドウ糖 50mL ルート内洗浄	1瓶		
		5%ブドウ糖 250mL オキサリプラチン 130mg/m ² 【2時間 点滴静注】【炎症性】 アレルギー症状注意 複数回以上 ほぼ数分以内	1袋 プライミング
生食注シリンジ10mL 【ポート使用時】フラッシュ 10mL以上のシリンジ使用	2本		

※インラインフィルター使用(0.2又は0.22 μm)
 ※CVポートへの凝集対策として、最終濃度を
 1.9mg/mL以上で調製

オキサリプラチン
 [今回の投与量] [累積投与量]
 _____ mg/body _____ mg/body

DAY2(月 日)～3(月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	1×朝食後

Day1夕食後(月 日)～Day15朝食後(月 日)

薬剤名	投与量	
S-1		2×朝夕食後

[投与前・適正使用基準]

1. PS 0～1であることが望ましい	
2. フッ化ピリミジン中止後7日以内の患者ではない	
3. 重篤な腎障害がない	
4. HER2陰性の切除不能な進行又は再発胃癌である	
5. 間質性肺炎の合併または既往がない(慎重投与)	
6. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。	
WBC (/ μL)	3000 ≤

S-1 腎障害時用量調節

[DLF]
 S-1 骨髄抑制
 オキサリプラチン 末梢神経障害

PLT	(/ μ L)	10万 \leq	
HGB	(g/dL)	9.0 \leq	
TBIL	(mg/dL)	施設基準上限の1.5倍以下	
GOT	(IU/L)	正常値上限の3倍未満	
GPT	(IU/L)	正常値上限の3倍未満	
Cr*	(mg/dL)	\leq 1.65	
蛋白、糖 etc...		施設正常値内	
血糖値		随時血糖288mg/dL以下	
TSH、FT-4		施設正常値内(月に1回検査)	

SOXの減量時の投与量(ARRT ACTION-4)

減量レベル	オキサリプラチン(mg/m ²)	S-1(mg/回)		
		<1.25m ²	1.25-1.5m ²	\geq 1.5m ²
初回投与量	130	40	50	60
1段階減量	100	25	40	50
2段階減量	75	20	25	40
3段階減量	50	投与中止		
4段階減量	投与中止			

SOXの減量基準

項目	有害事象	次回投与量	
	基準	オキサリプラチン	S-1
血小板減	(オキサリプラチン:130mg/m ² の場合のみ)投与予定日から7日以内に \geq 100000を満たさない場合	1段階減量	-
	投与予定日から7日以内に \geq 75000(grade \leq 1)を満たさない場合		
	(オキサリプラチン:50mg/m ² の場合のみ)投与予定日から7日以内に \geq 75000を満たさない場合	-	1段階減量
	\leq 25000(grade \leq 4)	1段階減量	1段階減量
好中球減少	好中球500未満(grade \leq 4)	1段階減量	1段階減量
発熱性好中球減少症	好中球1000未満かつ38 $^{\circ}$ C以上の発熱	1段階減量	1段階減量
下痢、口内炎、手足症候群	grade \geq 3	1段階減量	1段階減量
アレルギー反応/オキサリプラチンによる過敏症	grade \geq 3	投与中止	-
末梢神経障害	grade2	1段階減量	-
	grade3	休薬*	-
	grade4	投与中止	-

* grade2以下に回復後、1段階減量して再開

S-1の減量基準

項目	休薬基準
好中球数	1000未満(grade3以上)
血小板数	50000未満(grade3以上)
AST,ALT	施設基準値上限の2.5倍を超える(肝転移ある場合、5倍を超える)
血清クレアチニン	施設基準値上限の1.2倍を超える
感染	感染を疑う38 $^{\circ}$ C以上の発熱
下痢、口内炎、手足症候群	grade2以上

[重大な副作用]

オキサリプラチン

- ・末梢神経障害
- ・ショック、アナフィラキシー症状 【発疹・そう痒・気管支痙攣・呼吸困難・血圧低下等】
- ・間質性肺炎、肺繊維症 【発熱・咳・呼吸困難等】
- ・骨髄機能抑制 【検査値異常等チェック】
- ・溶血性尿毒症症候群
- ・視野欠損、視野障害、視神経炎、視力低下
- ・血栓塞栓症

- ・心室性不整脈、心筋梗塞 [脈のみだれ・息苦しさ・心電図異常・胸痛]
- ・肝静脈閉塞症

[重大な副作用]

《オブジーボ》

- ・間質性肺疾患 [発熱・咳・呼吸困難等]
- ・重症筋無力症、心筋炎、筋炎、横紋筋融解症
- ・大腸炎、重度の下痢
- ・1型糖尿病
- ・免疫性血小板減少性紫斑病
- ・肝機能障害、肝炎
- ・甲状腺機能障害
- ・神経障害
- ・腎障害
- ・副腎障害
- ・脳炎
- ・重度の皮膚障害
- ・静脈血栓塞栓症
- ・infusion reaction

